

## 「平成29年度 横浜緑ヶ丘高等学校 不祥事ゼロプログラム」実施結果

横浜緑ヶ丘高等学校事故防止会議

『平成29年度 横浜緑ヶ丘高等学校不祥事ゼロプログラム』で規定した「行動計画」についての実施状況を事故防止会議で検証した。その実施結果は以下にまとめた。

これらを踏まえつつ平成30年度の『横浜緑ヶ丘高等学校不祥事ゼロプログラム』を策定する。

## I 行動計画

## ① 法令等を遵守意識の向上。

目 標 法令遵守意識の向上	
行動計画	検証結果
1. 教育公務員としての責任を自覚のもと、法令遵守意識を高め、健全な日常生活を送る。 2. 心身ともに健康に留意し、互いを支えあう職場の人間関係を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月に「服務に関する手続き」を啓発資料とともに再確認し、事故防止に取り組む姿勢を再確認した。</li> <li>・ グループや教科、学年で事故防止に関する話し合いを実施した。</li> </ul>

## ② わいせつ・セクハラ行為の防止。

目 標 わいせつ・セクハラ行為の防止	
行動計画	検証結果
1. コミュニケーション手段の適切な利用についてのルールを徹底する。 2. 教育実習生にわいせつ・セクハラ行為の防止に対する研修を実施する。 3. 教科準備室等が密室化することがないように、適切な利用について意識啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月に「セクハラ・パワハラ・セルフチェック」を活用した研修を実施し、教育実習生オリエンテーションで同様の研修を実施した。</li> <li>・ 8月に「STOP!ザ・セクシャル・ハラスメント」を用いた研修を実施した。</li> </ul>

## ③ 体罰・不適切な指導の防止。

目 標 体罰、不適切な指導の防止	
行動計画	検証結果
1. 生徒理解につとめるとともに、生徒の人権を尊重した指導を行う。 2. 生徒指導等においては、複数で対応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月に全校生徒・保護者を対象にアンケート調査を実施し、本校においては体罰がないことを確認した。</li> <li>・ 11月に校内研修ツールを活用し、体罰及び不適切指導防止研修を行った。</li> </ul>

④ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止。

目 標 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	
行動計画	検証結果
1. 成績処理・通知票作成及び発行において、マニュアルに従い適切に取り扱う。 2. 調査書・推薦書等、進路関係書類の作成及び取扱いについて、職場研修を実施し、事故防止に努める。	・ 随時、資料を配付し、成績処理支援システムの操作手順、日程を徹底周知した。 ・ 点検・チェック体制、校内ルールを再度見直し、事故防止体制を強化した。

⑤ 個人情報の管理と情報セキュリティ対策。

目 標 個人情報等管理、情報セキュリティ対策	
行動計画	検証結果
1. 生徒の個人情報の収集は必要かつ緊急性を要する場合に限定し、届け出や連絡通知等の対応を適切に行うとともに、個人情報を含む電子データはパスワードの設定も含め適切に取り扱う。 2. 私物のUSBメモリーを持ち込まない等、神奈川県情報セキュリティポリシーに基づき、情報機器等を適正に取り扱う。 3. 個人情報が含まれている文書は、他の書類と混同しないよう明確に区別して取り扱い、紛失・誤廃棄・誤配付等を未然に防止する。	・ 個人情報保護の観点から、ルールを明確に示した。 ・ 10月に啓発資料をもとに、個人情報の取扱いについての事故防止研修を実施した。 ・ 進路グループと学事グループが協力して成績・進路関係書類の適切な発行に努めた。

⑥ 会計事務等の適正執行。

目 標 適正な経理処理に努める	
行動計画	検証結果
1. 公費、私費の適正管理に努め、相互チェック体制に万全を期す。 2. 適切な様式を使用するとともに、速やかな会計処理に努める。 3. 現金の取扱い削減に努める。	・ 5月に教頭が専門的な見地から、全職員対象の私費会計に係る不祥事防止研修会を開催し、事故防止に取り組む姿勢を再確認した。 ・ 「私費会計基準の扱い」の周知徹底を図った。 ・ 備品の現物照合を夏季休業中に行った。 ・ 11月の財務課による財務事務調査において公費・私費とも適切な会計処理がなされていることが確認された。

## II 検証

### (1) 第1回検証結果

平成29年11月10日の事故防止会議において実施状況を確認した。全てのプログラムは計画通りであった。また、行動計画の修正も必要なかった。

## (2) 第2回検証

平成30年3月9日の事故防止会議において再度検証を行なった。全ての行動計画は予定通りに実施できたことを確認した。

## (3) 最終検証

Iでまとめた実施状況を平成30年3月9日の事故防止会議において確認し結果に対する討議を行った。その結果は次の通りである。

- 1、プログラムは計画通りであった。今後とも実際に事故の抑止に結びつく、効果的なプログラムを策定する。
- 2、職員それぞれの責任感と予見力を向上させるという目標については来年度も継続し、それに即したプログラムを策定する。
- 3、プログラムの策定と実施は各グループを単位として行ない、より実効性のある具体的なプログラムを目指す。

これらの結果は学校評議員会議にて報告するとともに学校のWEB上で「不祥事ゼロプログラム検証結果」として公開する。また、平成30年度における「横浜緑ヶ丘高等学校 不祥事ゼロプログラム」策定の基礎資料とする。